

# 施策評価管理シート

2021(令和3)年6月作成

|      |      |   |                     |          |        |
|------|------|---|---------------------|----------|--------|
| 施策体系 | 政策   | 4 | 豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち |          |        |
|      | 基本施策 | 1 | 生きる力を育む教育の推進        | 担当部局(室)名 | 部局長名   |
|      | 施策   | 1 | 学校教育                | 教育委員会事務局 | 手島 左千夫 |

## 1. 施策の基本方針(目指す将来像)



- 夢をはぐくみ、心豊かで元気な「ぼりっ子」の育成を目指して、教育内容の充実を図るとともに、安全で快適な教育環境を整備します。
- 小学校教育から中学校教育への円滑な接続等、義務教育9年間を通じて児童生徒の発達に合った学びを実現するため、小中一貫教育の取組を推進します。
- 学校、家庭、地域、関係機関等、市総ぐるみで子どもの育ちを支援し、コミュニティ・スクールの仕組みを活用し、「地域とともにある学校づくり」の実現を目指します。
- 特別な支援が必要な子どもが、その能力や可能性を最大限に伸ばす教育を推進するとともに、保護者や関係機関と連携して、途切れのない支援に取り組みます。
- 持続発展可能な社会の実現のため、E S Dの視点を取り入れた、環境教育、国際理解教育、情報教育等の充実を図るとともに、家庭、地域と連携して特色ある学校づくりに取り組みます。

## 2. 令和2年度の取組内容及びその成果



- ・G I G Aスクール構想の早期実現に向け、校内通信ネットワークの整備及び児童生徒の一人一台端末の整備に取り組み、小中学校の全児童生徒が学習用に使えるタブレット端末を配置しました。また、小中学校全ての普通教室で大型掲示装置を無線で活用できる環境を整えました。このことにより、全小中学校の普通教室でICTを活用した授業を実施することができる教育環境が整いました。
- ・小中一貫推進会議では、各中学校区における進捗状況や年間の取組を確認しました。各中学校区においては、グランドデザインやカリキュラムを作成し、計画に沿った取組を進めることができました。
- ・コミュニティ・スクール設置に向けた体制整備のためにアドバイザーを招聘した推進協議会の開催等の取組により、未設置校の3校において、令和2年度内に設置することができました。また、教職員・保護者・地域への周知のため研修会の実施や、学校とボランティアをつなぐ「ボランティア・サロン」やボランティア研修会の開催、コミュニティ・スクールだより等を発行することで、「地域とともにある学校づくり」についての理解と推進を図りました。
- ・全ての幼稚園・保育所(園)・認定こども園に元小学校教員である「ピカ1先生」と幼児教育アドバイザーが年間2回巡回し、「しっかりつなぐ育ちのバトンカリキュラム」に基づく保育実践を広めるとともに、幼児の小学校入学に対する期待感と安心感を高めることができました。
- ・小中学校で系統的に名張について学び、ふるさとに誇りと愛着を持って、名張市の素晴らしさを知り語ることができる子どもの育成を目指して、市独自のふるさと学習「なばり学」を支援する地域人材の育成と活用を推進することができました。
- ・環境省の補助事業を活用し、13小中学校に太陽光発電設備等を整備し、二酸化炭素排出量削減と、避難所となる体育館の防災機能強化に努めました。

## 3. 施策指標(目標)の達成状況



| 施策指標(目標)の内容(単位)   |    | 基準値(H29) | 2018(H30) | 2019(R1) | 2020(R2) | 2021(R3) | 2022(R4) | 進捗率    |
|---|----|----------|-----------|----------|----------|----------|----------|--------|
| 小中学校の教育環境に満足している市民の割合(%)  | 目標 | -        | -         | -        | -        | -        | 70.0     |        |
|   | 成果 | 62.4     | 62.8      | 66.8     | 69.3     |          |          | 90.8%  |
| 不登校児童生徒の家庭に対して、学校内外の専門家、関係機関との連携ができている割合(%)                       | 目標 | -        | -         | -        | -        | -        | 80.0     |        |
|   | 成果 | 64.4     | 72.4      | 75.8     | 76.3     |          |          | 76.3%  |
| 通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒のうち、個別的教育計画を保護者の同意のもとに作成している割合【小学校】(%) | 目標 | -        | -         | -        | -        | -        | 70.0     |        |
|   | 成果 | 25.0     | 55.1      | 72.7     | 77.5     |          |          | 100.0% |
| 通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒のうち、個別的教育計画を保護者の同意のもとに作成している割合【中学校】(%) | 目標 | -        | -         | -        | -        | -        | 50.0     |        |
|   | 成果 | 2.3      | 8.4       | 29.9     | 21.9     |          |          | 41.1%  |

## 4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



- ・全小中学校に導入した学習用タブレット端末をより効果的に活用し、児童生徒の情報活用能力の育成を図る必要があります。また、災害発生時や感染症対策として、学校が臨時休校等の状況が生じた場合には、学習用タブレット端末を活用したオンライン授業等を実施し、子どもの学びを保障する取組が必要です。
- ・小中一貫教育に係る中学校区内での会議の頻度や小中一貫教育カリキュラム(各教科及びキャリア教育)の作成についての進捗は、中学校区によって異なります。中学校区内での会議をより一層活性化させるとともに、義務教育9年間を見据えた系統的・継続的な指導を行うためにカリキュラムを作成し、全教職員の共通理解のもとで取組を充実させる必要があります。
- ・コミュニティ・スクールにおいては、引き続き、学校からの報告のみで協議が深まっていない等の課題が見られるため、研修会の実施、地域の独自性や学校の特色ある取組の周知等、学校運営協議会の活性化に向けてさらなる支援をしていく必要があります。
- ・一つの小学校に多数の幼稚園・保育所(園)・認定こども園から就学する状況をふまえ、市全体での保育士・幼稚園教諭・保育教諭と小中学校教員による相互理解のための交流会や研修会を充実させる必要があります。
- ・通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対し、保護者と連携しながら個別の指導計画を活用して支援を進めている事例は増加しており、今後も継続した取組が必要です。
- ・教育環境に満足している市民の割合が高くなった要因の一つとして、一人一台端末による学習環境が整備されたことが考えられます。一方で施設の老朽化が進んでいることから、安心安全な教育環境を維持するために施設整備を行っていく必要があります。

## 5. 分析結果を踏まえた施策の取組内容（令和3年度以降）



- ・GIGAスクール構想による学習用タブレット端末を授業の中で効果的に使用できるよう引き続き教職員の研修を進めます。
- ・緊急時のオンライン授業等ができるように、家庭でのネットワーク回線の確保ができる環境整備と端末を扱う教職員または児童生徒のICT活用スキルを高めていきます。
- ・小中一貫教育、コミュニティ・スクールともに各中学校区担当指導主事が中学校区（学校）で行われる会議に引き続き積極的に参加するとともに、必要に応じて適切な指導・助言を行い、各中学校区（学校）における取組を支援します。
- ・コミュニティ・スクールにおいては、引き続き、学校運営への参画、学校支援の充実、地域貢献の場づくりの視点で、設置校における学校運営協議会のさらなる取組の充実に向けて支援をするとともに、関係部署との連携を一層図り、スクール・コミュニティー（学校を核とした地域づくり）への体制を構築します。
- ・全ての幼稚園・保育所（園）・認定こども園と小学校が連携を図り、円滑な接続を行うために、今後も継続して幼児教育アドバイザーやピカ1先生を派遣するとともに、教職員研修の充実を図り、子どもたちの小学校入学に対する期待感と安心感を高めるよう取組を進めます。
- ・特別な支援を必要とする子どもたちが増加する中、引き続き、研修会・事例検討会を通して教員のスキルアップを図るとともに、巡回指導員等を活用して校内支援の充実を図ります。
- ・多くの学校施設は、経年経過により老朽化が進んでいることから計画的に施設整備に取り組んでいきます。

施策を構成する主な事務事業

\*事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています(施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます)。

\*R2決算見込は、R1からの繰越額も含みます。

\*R3予算は、R3.4.1時点での金額を記載しています。(R2からの繰越額含む。)

\*R3予算のみ金額が記載されている事務事業は、R3の事業内容を記載しています。

(単位：千円)

| 会計 | 事務事業名               | 担当部局名    | 担当室名  | 令和2年度内容  | R2決算見込 |        | R3予算   |        |
|----|---------------------|----------|-------|--|--------|--------|--------|--------|
|    |                     |          |       |  | 決算額    | うち一般財源 | 予算額    | うち一般財源 |
| 一般 | スクールバス等運行事業         | 教育委員会事務局 | 教育総務室 | 小学校の統廃合により、統合先の小学校へ通学することになった児童の通学手段の確保のためスクールバスを運行し、スクールバスの運行以外の時間においては、市事業等で活用しました。<br>(令和2年度実績)<br>・錦生赤目小学校<br>・比奈知小学校<br>・つつじが丘小学校<br>・市事業等利用 36回  | 19,646 | 17,188 | 18,500 | 18,500 |
| 一般 | 学校における外国人児童生徒サポート事業 | 教育委員会事務局 | 学校教育室 | 日本語指導が必要な外国人児童生徒に対して、日本語を用いた学校生活を営むことができるよう支援しました。<br>(令和2年度実績)<br>・市外国人児童生徒日本語指導員、生活学習指導員による学校巡回(7校)<br>・指導用教材作成<br>・外国人児童生徒教育担当者研修会の実施(1回)   | 1,921  | 961    | 2,880  | 1,440  |
| 一般 | ふるさととなばり推進プロジェクト事業  | 教育委員会事務局 | 学校教育室 | ふるさと学習「なばり学」を推進し、郷土を愛する子どもの育成に取り組みました。<br>(令和2年度実績)<br>・小中全学年で本格実施<br>・学習資料集増刷に向けての改訂作業の検討   | 1,418  | 709    | 0      | 0      |
| 一般 | 生徒指導充実推進事業          | 教育委員会事務局 | 学校教育室 | 学級集団や学年・学校の集団づくりを通して、いじめや不登校が生まれにくい望ましい人間関係づくりの取り組みを進めました。また、支援が必要な児童生徒をはじめ、全ての児童生徒に対して、他者理解や自己有用感を高める取り組みにより、いじめや不登校等の未然防止を図りました。<br>(令和2年度実績)<br>・教育相談担当者会の開催(1回)<br>・生徒指導推進委員会の開催(6回)<br>・Q-U調査の実施(2回)<br>・各校研修会への講師派遣(2校)<br>・校内研修サポート(電子研修データの提供) | 1,373  | 1,373  | 1,396  | 1,396  |
| 一般 | GIGAスクール活用事業        | 教育委員会事務局 | 学校教育室 | 主体的、対話的で深い学びをさらに進めるために、GIGAスクール構想による学習用タブレット端末を活用するための大型提示装置関連の整備をおこないました。また感染症流行等緊急時や不登校等の児童生徒を対象としたオンライン学習を学校が配信できるシステムを導入しました。<br>(令和2年度実績)<br>・中学校への黒板投射型レーザープロジェクタの設置(63台)<br>・小中学校の大型提示装置への無線転送装置。(252台)<br>・オンライン授業配信用無線ヘッドセット(40台)             | 26,273 | 0      | 0      | 0      |
| 一般 | コミュニティ・スクール推進事業     | 教育委員会事務局 | 学校教育室 | 市内全ての小中学校がコミュニティ・スクールとなりました。このことにより、今後、コミュニティ・スクールの中学校区内の連携が必要となり、学校運営協議会活用の在り方、組織づくりについて、推進協議会において協議するとともに、講演会を開催して理解を深め、学校運営協議会の充実に生かしていきました。<br>(令和2年度実績)<br>・市内全ての小中学校に学校運営協議会を設置。   | 1,624  | 1,502  | 1,677  | 62     |

施策を構成する主な事務事業

(単位：千円)

| 会計 | 事務事業名                  | 担当部局名    | 担当室名   | 令和2年度内容   | R2決算見込  |        | R3予算   |        |
|----|------------------------|----------|--------|---|---------|--------|--------|--------|
|    |                        |          |        |   | 決算額     | うち一般財源 | 予算額    | うち一般財源 |
| 一般 | 教育研究事業                 | 教育委員会事務局 | 教育センター | 「子どもの育ち・学びへの支援」「教育に関する調査・研究」「教職員への支援」「学校と地域や家庭との連携への支援」「教育情報・資料の収集・提供」の五つの機能を提供しました。<br>(令和2年度実績)<br>・教育相談事業<br>・研修講座、家庭教育講座等の実施<br>・児童生徒支援事業<br>・適応指導教室の運営<br>・週末教育事業<br>・発達支援教室<br>・学校支援ボランティア推進事業<br>・学校教育支援員事業<br>・なばり学ゲストティーチャー事業等 | 3,126   | 904    | 4,191  | 0      |
| 一般 | 小学校ALT派遣事業             | 教育委員会事務局 | 学校教育室  | 市内14小学校に、3名の小学校専属の外国語指導助手を配置し、外国語活動の時間にネイティブスピーカーと接することで、コミュニケーション能力の育成及び国際理解教育、更に英語活動の充実を図りました。  | 13,715  | 13,715 | 13,715 | 13,715 |
| 一般 | 中学校ALT派遣事業             | 教育委員会事務局 | 学校教育室  | 市内5中学校にJETプログラムによる外国語指導助手を派遣するとともに、小・中学校のなめらかな学習の接続を目指し、小学校の英語活動の支援を行いました。さらに、幼児期からのコミュニケーション力育成のために、幼稚園等にも支援を行いました。  | 8,696   | 8,675  | 9,733  | 9,712  |
| 一般 | 小学校教育振興費(扶助費分)         | 教育委員会事務局 | 教育総務室  | 経済的理由で就学困難な児童の保護者や特別支援学級に就学する児童のうち、世帯の所得が生活保護基準の2.5倍以内の保護者に対し、学用品、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、学校給食費を支給しました。<br>(令和2年度実績)<br>・就学援助対象者 427名、扶助費 26,802千円<br>・特別支援教育就学奨励費対象者 184名、扶助費 6,032千円  | 32,836  | 29,816 | 39,800 | 36,057 |
| 一般 | 中学校教育振興費(扶助費分)         | 教育委員会事務局 | 教育総務室  | 経済的理由で就学困難な生徒や特別支援学級に就学する生徒のうち、世帯の所得が生活保護基準の2.5倍以内の保護者に対し、学用品、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、学校給食費を支給しました。<br>(令和2年度実績)<br>・就学援助対象者 280名、扶助費 12,920千円<br>・特別支援教育就学奨励費対象者 57名、扶助費 1,458千円   | 14,374  | 13,631 | 23,100 | 21,668 |
| 一般 | 奨学金支給事業(補助金含む)         | 教育委員会事務局 | 教育総務室  | 将来、郷土や社会に貢献できる人材を育成するため、高等学校・高等専門学校1～3年生、大学又は高等専門学校の4～5年生を対象に、奨学金の支給、又は、貸付を行いました。<br>(令和2年度実績)<br>・支給奨学金(新規20名、継続34名)<br>・貸付奨学金(新規1名、継続6名)  | 5,057   | 579    | 10,416 | 4,662  |
| 一般 | 遠距離通学費補助金(小学校)         | 教育委員会事務局 | 教育総務室  | 名張市立小学校へ遠距離通学する児童及び特別支援学級に在籍する児童の保護者に対し、交通機関(バス)並びに自動車による通学費の一部を補助しました。<br>(令和2年度実績)<br>・対象者 189名   | 1,790   | 1,755  | 1,946  | 1,946  |
| 一般 | 遠距離通学費補助金(中学校)         | 教育委員会事務局 | 教育総務室  | 名張市立中学校へ遠距離通学(通学距離が片道概ね4km以上を基本)する生徒の保護者に対し、通学費の一部を補助しました。また、市内中学校の統廃合に伴い増加した通学費の一部を補助しました。<br>(令和2年度実績)<br>・対象者 367名   | 8,273   | 8,187  | 9,021  | 9,021  |
| 一般 | GIGAスクール構想実現事業(教育総務室分) | 教育委員会事務局 | 教育総務室  | GIGAスクールを実現するため、市内小中学校に無線LAN整備を行いました。<br>(令和2年度実績)<br>・各小中学校校内ネットワーク整備業務委託  | 211,014 | 332    | 0      | 0      |

施策を構成する主な事務事業

(単位：千円)

| 会計 | 事務事業名                  | 担当部局名    | 担当室名  | 令和2年度内容   | R2決算見込  |        | R3予算  |        |
|----|------------------------|----------|-------|---|---------|--------|-------|--------|
|    |                        |          |       |   | 決算額     | うち一般財源 | 予算額   | うち一般財源 |
| 一般 | GIGAスクール構想実現事業(学校教育室分) | 教育委員会事務局 | 学校教育室 | GIGAスクール構想による学習用タブレット端末を専用ケース付きキーボードとともに、迅速な活用開始を目指し、市内小中学校の全児童生徒に初期設定を実施し配備しました。(計5,970台)<br>タブレット端末は、安定して授業ですぐに活用するため、モバイルデバイス管理システムを導入して集中管理ができるようにしました。<br>全19校にタブレット端末用ネットワークプリンタを設置しました。<br>(令和2年度実績)<br>・市内全小中学校でICTを活用した授業の実施。<br>・児童生徒の情報活用能力の育成。<br>・学習支援アプリケーションの教職員研修の実施。<br>・オンライン学習用アプリの導入と教職員オンライン研修の実施。 | 299,211 | 3      | 0     | 0      |
| 一般 | 小学校給食用昇降機改修事業          | 教育委員会事務局 | 教育総務室 | 学校給食衛生管理基準に沿った安全安心な給食を提供するため、老朽化している小学校給食運搬用昇降機を改修しました。<br>(令和2年度実績)<br>・改修工事(錦生赤目小学校・梅が丘小学校)   | 4,620   | 20     | 3,474 | 74     |
| 一般 | 小学校防災減災低炭素化実現事業        | 教育委員会事務局 | 教育総務室 | 平時の二酸化炭素排出量を抑制すると共に、災害時に避難所となる体育館の防災機能の強化を図るために太陽光発電設備及び蓄電池設備の整備を行いました。<br>(令和2年度実績)<br>・各小学校太陽光発電設備整備工事  | 504,401 | 3,718  | 0     | 0      |
| 一般 | 中学校老朽施設解体事業            | 教育委員会事務局 | 教育総務室 | 老朽化した建物が、危険な状態にあるため解体する。<br>工事については令和3年度予定。   | 0       | 0      | 4,900 | 500    |
| 一般 | 中学校防災減災低炭素化実現事業        | 教育委員会事務局 | 教育総務室 | 平時の二酸化炭素排出量を抑制すると共に、災害時に避難所となる体育館の防災機能の強化を図るために太陽光発電設備及び蓄電池設備の整備を行いました。<br>(令和2年度実績)<br>・桔梗が丘中学校太陽光発電設備整備工事   | 56,781  | 672    | 0     | 0      |
| 一般 | 中学校空調設備整備事業            | 教育委員会事務局 | 教育総務室 | 名張中学校職員室及び校長室の空調設備整備を行うための設計業務を行いました。工事については令和3年度予定。<br>(令和2年度実績)<br>・空調設備整備工事設計  | 473     | 173    | 8,409 | 73     |